保存版

近江八幡市地震ハザードマップ ガイドブック

◆近江八幡市の地形

近江八幡市の地形は、山地や台地が少なく、低地の占める割合が高いのが特徴です。市内では震度5強～震度７の地震の発生が予想されています。詳しくは、３，４ページをご覧ください。

地震ハザードマップとは、市内への影響の大きい地震を想定し、震度や地域の建物被害の発生割合を予測してマップに示したものです。

あわせて、住宅の耐震化や家具の固定、簡易耐震診断などの防災対策、日頃からの心得や避難時の注意点など、地震対策に大切なことをガイドブックにまとめました。このハザードマップを活用し、いつ起こるかわからない巨大地震から自らの命を守りましょう。

近江八幡市 平成28年

2. 近江八幡市周辺の活断層

滋賀県では多くの活断層の存在が明らかにされています。特に、「琵琶湖西岸断層地震」は30年以内の発生確率が最大値3パーセントとされており、日本の活断層の中でも、発生確率が高いグループに属しています。

また、花折断層帯や鈴鹿西縁断層帯、頓宮断層帯なども、発生確率が比較的高いため、注意が必要です。

3. ハザードマップで想定する地震動

近江八幡市地震ハザードマップでは、市内に大きな影響を及ぼす以下の3つの地震を想定し、揺れやすさマップと倒壊危険度マップを作成しています。

◆想定する地震

ハザードマップには、「琵琶湖西岸断層帯（北部破壊ケース）」「琵琶湖西岸断層帯（南部破壊ケース）」の2つの活断層型の地震と、「南海トラフ巨大地震（陸側ケース）」のプレート型地震の合わせて3つの地震を想定しています。

市内では最大震度5強～7の揺れが想定されています。

近江八幡市で想定される地震と想定される震度

滋賀県が平成24年、25年度に実施した、地震被害想定調査では、6種類の地震が想定されています。なお、ここに示されている震度はあくまでも想定であり、想定を上回る地震が発生する恐れもあります。

	想定震源断層(帯)	破壊開始点(震源)の位置	Mw (モーメントマグニチュード)	最大震度
①	琵琶湖西岸断層帯	北部からの断層破壊を仮定	7.8	6強
		南部からの断層破壊を仮定	7.8	7
②	花折断層帯	中部南側からの断層破壊を仮定	7.4	6弱
		南部からの断層破壊を仮定	7.4	6弱
③	木津川断層帯	東側からの断層破壊を仮定	7.3	5強
		西側からの断層破壊を仮定	7.3	5強
④	鈴鹿西縁断層帯	南側からの断層破壊を仮定	7.6	6弱
		北側からの断層破壊を仮定	7.6	6弱
⑤	柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯	中部北側からの断層破壊を仮定	7.8	5強
		南部南側からの断層破壊を仮定	7.8	6弱
⑥	南海トラフ巨大地震	基本ケース	9.0	6弱
		陸側ケース	9.0	6強

近江八幡市
揺れやすさマップ

揺れやすさマップとは？

揺れやすさマップは、市内に大きな影響を及ぼすと考えられる3種類の地震（想定地震動を参照）の想定震度を重ね合わせ、最大となる震度を表示したものです。

このマップで表示する震度は、あくまでも一つの想定であり、地震の発生の仕方によっては、マップに表示されているよりも、揺れが強くなったり弱くなったりすることがあります。

揺れやすさマップの作成手法

このマップは、県が公表している地震のゆれやすさデータ（250mメッシュ）を活用し、市内を50mメッシュに分割して、地表での揺れやすさを予測しました。

設定 マップに表示させる地震として、市内に大きな影響を及ぼすと考えられる地震を選び、計算条件を設定します。

↓

計算 それぞれの地震について、県が公表している250mメッシュの地震動データを50mメッシュに分割し、表層での揺れやすさを計算します。

↓

表示 このマップでは、3つの地震の震度を重ね合わせて、その場所で最も大きな揺れとなる最大の震度を表示しています。

避難施設・避難所一覧

地区	番号	名称	所在地
八幡学区	1	八幡小学校	本町5丁目5
	2	八幡コミュニティセンター	宇津呂町73－1
	3	地域生活支援センターふらっと	宇津呂町19－6
	4	八幡商業高校（体育館）	宇津呂町10
	5	八幡幼稚園	出町487
	6	文化会館	出町366
	7	近江兄弟社学園（体育館）	市井町177
	8	八幡中学校	市井町36
	9	ひまわり館（総合福祉センター）	土田町1313
	10	八幡子どもセンター	八幡町37－1
島学区	11	島コミュニティセンター	島町1671－1
	12	島小学校	島町1603
	13	白鷺子ども園	島町1660－1
	14	メリー保育園	大中町467－1
沖島学区	15	沖島コミュニティセンター	沖島町268－1
	16	沖島漁業センター	沖島町43
	17	沖島小学校	沖島町360
	18	老喜の里	沖島町343－3
岡山学区	19	岡山コミュニティセンター	加茂町1524－2
	20	岡山小学校	加茂町1524
	21	岡山幼稚園	加茂町1524
	22	運動公園体育館	津田町18
金田学区	23	金田コミュニティセンター	金剛寺町375
	24	金田小学校	金剛寺町276
	25	金田幼稚園	金剛寺町390
	26	八幡東中学校	上田町1751
	27	アクティ近江八幡（勤労者総合福祉センター）	鷹飼町南4丁目4－5
	28	八幡工業高校（体育館）	西庄町5
	29	サンビレッジ近江八幡（勤労者総合スポーツ施設）	鷹飼町40

地区	番号	名称	所在地
桐原学区	30	桐原小学校	森尻町414－1
	31	ポリテクカレッジ滋賀（滋賀職業能力開発短期大学校）	古川町1414
	32	八幡西中学校	古川町50
	33	桐原コミュニティセンター	森尻町414－3
	34	桐原幼稚園	中小森町1191
	35	八幡西子どもセンター	大森町41－1
	36	八幡高等学校（体育館）	堀上町105
	37	桐原東小学校	土田町175
	38	はつらつ館（市民共生センター）	大森町41－7
馬淵学区	39	馬淵コミュニティセンター	馬淵町3145
	40	馬淵小学校	馬淵町1533
	41	馬淵幼稚園	馬淵町1533
	42	岩倉コミュニティ水防センター	馬淵町221
北里学区	43	北里コミュニティセンター	江頭町973
	44	北里小学校	江頭町1014
	45	北里防災センター	十王町725－1
	46	看護専門学校	江頭町983
	47	野村町集落センター	野村町1439
	48	水茎町自治会館	水茎町664

地区	番号	名称	所在地
武佐学区	49	武佐コミュニティセンター	友定町305
	50	武佐小学校	武佐町118
	51	武佐こども園別館	武佐町118
	52	八幡東子どもセンター	末広町320－2
安土学区	53	安土中学校	安土町上豊浦862
	54	あづちマリエート	安土町桑実寺777
	55	私立安土保育園	安土町小中190
	56	安土コミュニティセンター	安土町下豊浦4660
	57	安土幼稚園	安土町下豊浦5300
	58	安土小学校	安土町常楽寺456
老蘇学区	59	老蘇小学校	安土町東老蘇1300
	60	老蘇コミュニティセンター	安土町東老蘇1136－1
	61	安土健康づくりセンター	安土町内野2048

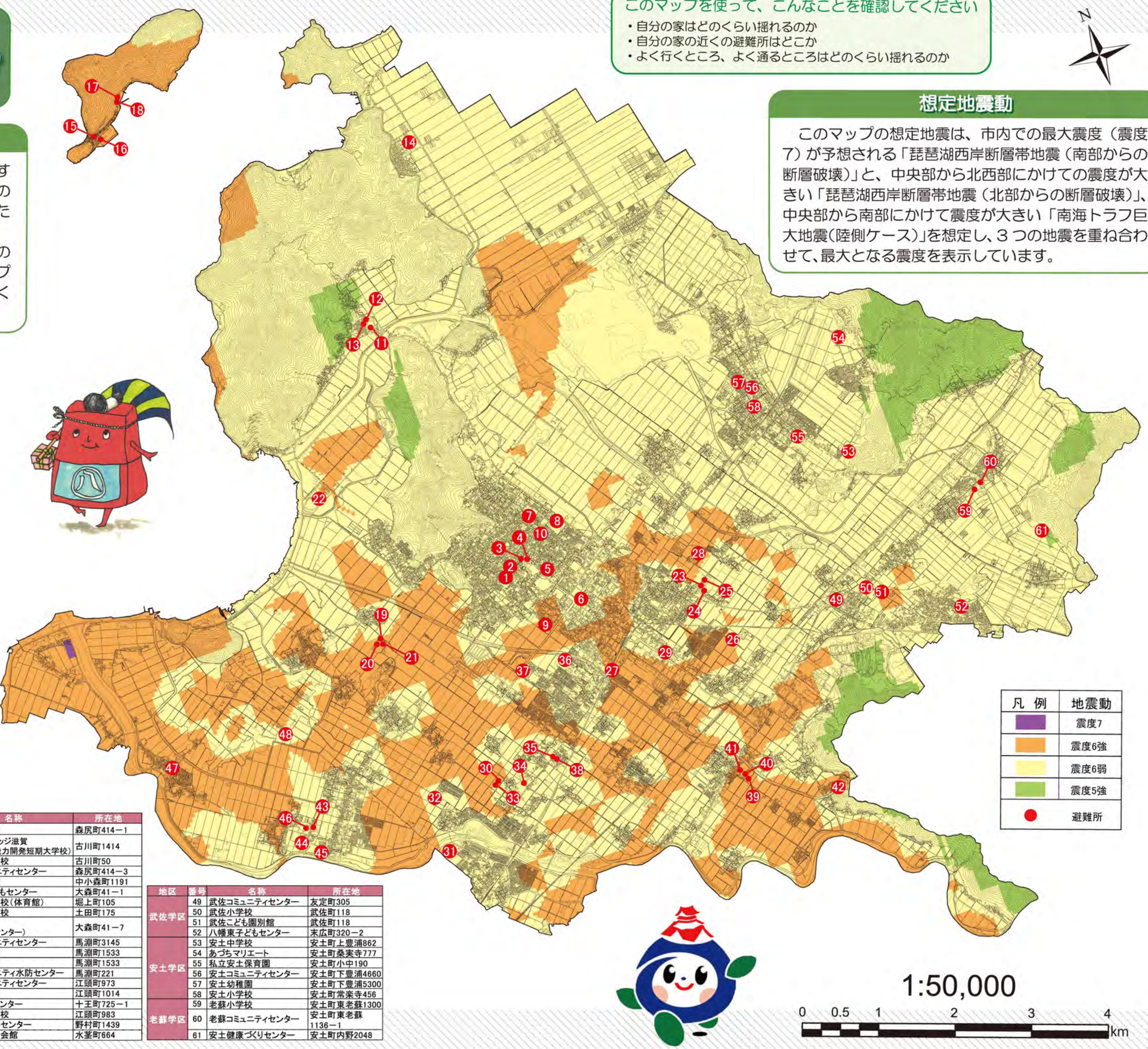
※ 地震時の避難施設・避難所のみ記載しています

このマップを使って、こんなことを確認してください

- 自分の家はどのくらい揺れるのか
- 自分の家の近くの避難所はどこか
- よく行くところ、よく通るところはどのくらい揺れるのか

想定地震動

このマップの想定地震は、市内での最大震度（震度7）が予想される「琵琶湖西岸断層帯地震（南部からの断層破壊）」と、中央部から北西部にかけての震度が大きい「琵琶湖西岸断層帯地震（北部からの断層破壊）」、中央部から南部にかけて震度が大きい「南海トラフ巨大地震（陸側ケース）」を想定し、３つの地震を重ね合わせて、最大となる震度を表示しています。



凡例	地震動
■	震度7
■	震度6強
■	震度6弱
■	震度5強
●	避難所

近江八幡市
倒壊危険度マップ

倒壊危険度マップとは？

倒壊危険度マップは、地震による揺れによって発生する建物被害の分布を表したものです。

倒壊危険度は、「揺れやすさマップ」で示された地震の強さになった場合に、建物にどの程度被害が生じるかの目安を示し、数値が大きくなるほど地域の建物被害は大きくなります。

マップ上に示された危険度はあくまでも一つの想定です。色が付いていない地域でも、建物被害が生じる恐れがありますので、注意してください。

倒壊危険度マップの作成手法

このマップの作成あたっては、次のような手順で倒壊危険度を予測しています。

整理 建物分布状況を大字・町丁目単位で整理します。建物の耐震性は構造と建築年代によって異なるため、構造と建築年を区分して把握します。

↓

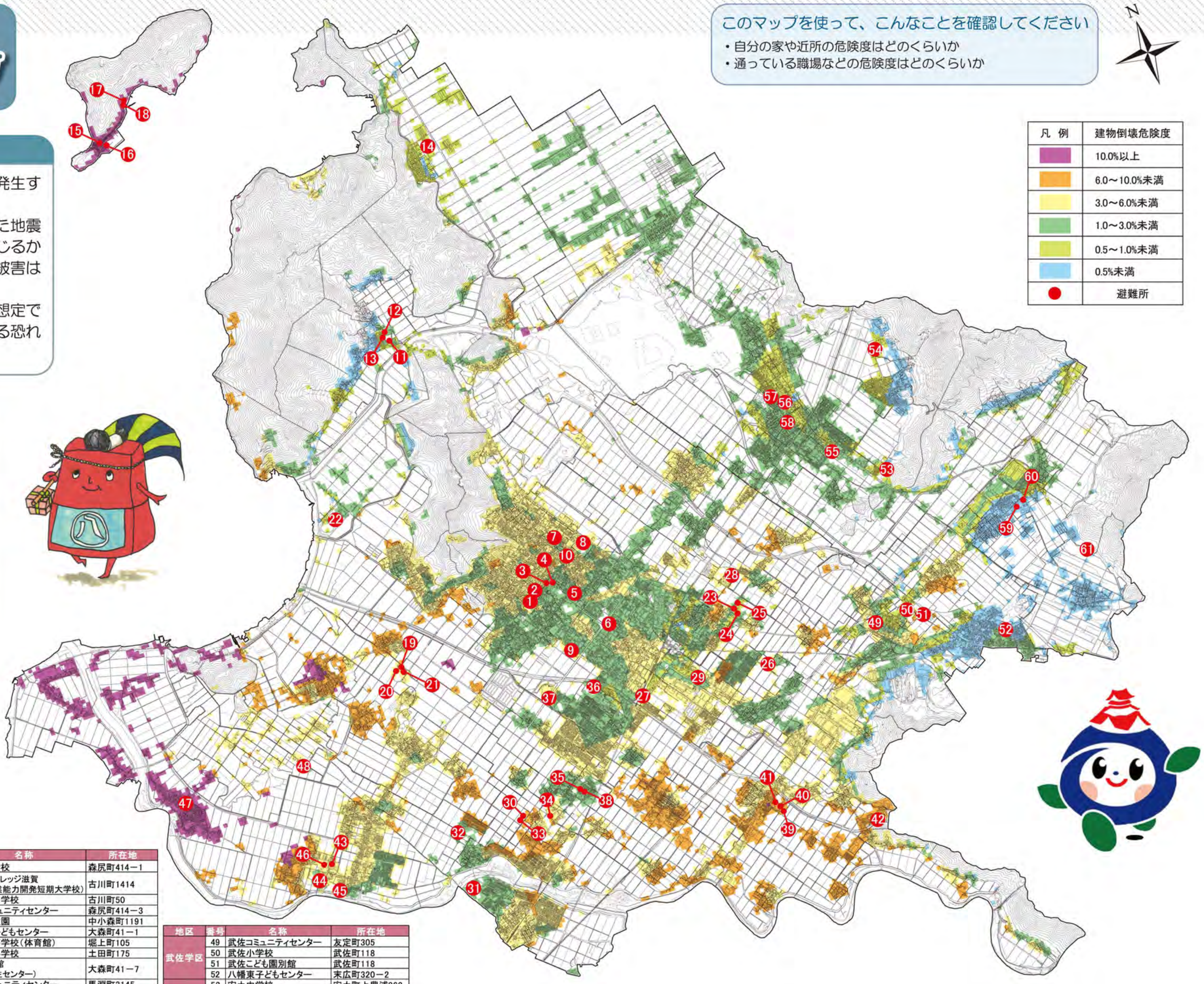
計算 揺れやすさマップで示された50mメッシュの震度データを用い、震度と建物の全壊率の関係から、建物全壊棟数率を算出します。

↓

表示 このマップでは、50mメッシュごとの建物倒壊危険度を表示しています。

このマップを使って、こんなことを確認してください

- 自分の家や近所の危険度はどのくらいか
- 通っている職場などの危険度はどのくらいか



避難施設・避難所一覧

地区	番号	名称	所在地
八幡学区	1	八幡小学校	本町5丁目5
	2	八幡コミュニティセンター	宇津呂町73－1
	3	地域生活支援センターふらっと	宇津呂町19－6
	4	八幡商業高校(体育館)	宇津呂町10
	5	八幡幼稚園	出町487
	6	文化会館	出町366
	7	近江兄弟社学園(体育館)	市井町177
	8	八幡中学校	市井町36
	9	ひまわり館(総合福祉センター)	土田町1313
	10	八幡子どもセンター	八幡町37－1
島学区	11	島コミュニティセンター	島町1671－1
	12	島小学校	島町1603
	13	白鷺子ども園	島町1660－1
	14	メリー保育園	大中町467－1
沖島学区	15	沖島コミュニティセンター	沖島町268－1
	16	沖島漁業センター	沖島町43
	17	沖島小学校	沖島町360
	18	老喜の里	沖島町343－3
岡山学区	19	岡山コミュニティセンター	加茂町1524－2
	20	岡山小学校	加茂町1524
	21	岡山幼稚園	加茂町1524
	22	運動公園体育館	津田町18
金田学区	23	金田コミュニティセンター	金剛寺町375
	24	金田小学校	金剛寺町276
	25	金田幼稚園	金剛寺町390
	26	八幡東中学校	上田町1751
	27	アクティ近江八幡 (勤労者総合福祉センター)	鷹飼町南4丁目 4－5
	28	八幡工業高校(体育館)	西庄町5
	29	サンビレッジ近江八幡 (勤労者総合スポーツ施設)	鷹飼町40

※ 地震時の避難施設・避難所のみ記載しています

地区	番号	名称	所在地
桐原学区	30	桐原小学校	森尻町414－1
	31	ポリテクカレッジ滋賀 (滋賀職業能力開発短期大学校)	古川町1414
	32	八幡西中学校	古川町50
	33	桐原コミュニティセンター	森尻町414－3
	34	桐原幼稚園	中小森町1191
	35	八幡西子どもセンター	大森町41－1
	36	八幡高等学校(体育館)	堀上町105
	37	桐原東小学校	土田町175
	38	はつらつ館 (市民共生センター)	大森町41－7
馬淵学区	39	馬淵コミュニティセンター	馬淵町3145
	40	馬淵小学校	馬淵町1533
	41	馬淵幼稚園	馬淵町1533
	42	岩倉コミュニティ水防センター	馬淵町221
北里学区	43	北里コミュニティセンター	江頭町973
	44	北里小学校	江頭町1014
	45	北里防災センター	十王町725－1
	46	看護専門学校	江頭町983
	47	野村町集落センター	野村町1439
	48	水茎町自治会館	水茎町664

地区	番号	名称	所在地
武佐学区	49	武佐コミュニティセンター	友定町305
	50	武佐小学校	武佐町118
	51	武佐こども園別館	武佐町118
	52	八幡東子どもセンター	末広町320－2
安土学区	53	安土中学校	安土町上豊浦862
	54	あづちマリエート	安土町桑実寺777
	55	私立安土保育園	安土町小中190
	56	安土コミュニティセンター	安土町下豊浦4660
	57	安土幼稚園	安土町下豊浦5300
	58	安土小学校	安土町常楽寺456
老蘇学区	59	老蘇小学校	安土町東老蘇1300
	60	老蘇コミュニティセンター	安土町東老蘇 1136－1
	61	安土健康づくりセンター	安土町内野2048

4．地震の揺れと感じ方

◆気象庁震度階級

震度0

人は揺れを感じない。

震度1

屋内にいる人の一部が、わずかな揺れを感じる。

震度2

屋内にいる人の多くが揺れを感じる。
眠っている人の一部が、目を覚ます。電灯などのつり下げ物がわずかに揺れる。

震度3

屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。
恐怖感を覚える人もいる。棚にある食器類が音をたてることがある。

震度4

かなりの恐怖感があり、一部の人は身の安全を図ろうとする。
眠っている人のほとんどが目を覚ます。つり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音をたてる。座りの悪い置物が倒れることがある。

震度5弱

多くの人が身の安全を図ろうとする。一部の人は、行動に支障を感じる。つり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の多くが倒れ、家具が移動することがある。

震度5強

非常に恐怖を感じる。多くの人が行動に支障を感じる。
棚にある食器類、書棚の本の多くが落ちる。テレビが台から落ちることがある。タンスなど重い家具が倒れることがある。変形によりドアが開かなくなることがある。一部の戸が外れる。

震度6弱

立っていることが困難になる。
固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。開かなくなるドアが多い。

震度6強

立っていることができず、はわないと動くことができない。
固定していない家具のほとんどが移動、転倒する。戸が外れて飛ぶことがある。

震度7

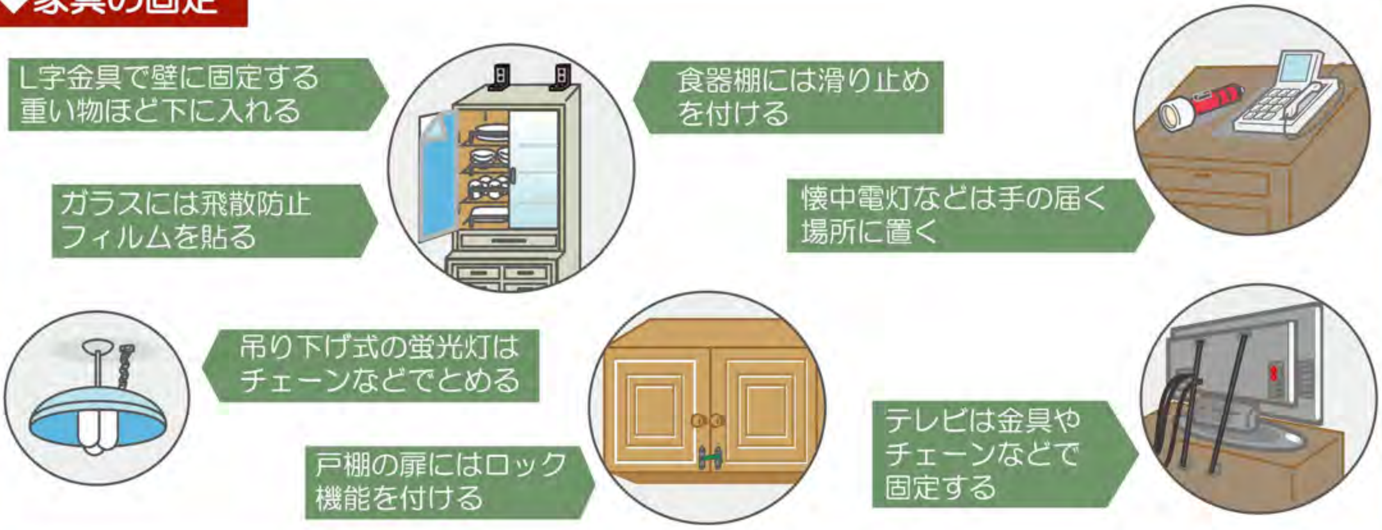
揺れにほんろうされ、自分の意思で行動できない。
ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある。

5. 被害を防ぐ

阪神淡路大震災の死因の8割は、家の倒壊や家具等の転倒による圧迫死です。事前の対策を十分に行うことが大切です。

◆家屋の耐震化

◆家具の固定



◆近江八幡市の助成制度

● 近江八幡市木造住宅耐震診断員派遣事業

市では、県と協力して旧耐震基準で建築された在来木造住宅（昭和56年5月以前着工）の無料耐震診断事業を実施しています。

● 近江八幡市木造住宅耐震補強案作成事業

市は県と協力して、旧耐震基準で建築された在来木造住宅（昭和56年5月以前着工）の耐震補強案の作成、及び本案に係る概算改修費用の算出を無料で実施しています。

● 近江八幡市木造住宅耐震・バリアフリー改修工事費補助事業

木造住宅の耐震改修を進めるため、バリアフリー改修と併せて工事費の一部に補助を行い、耐震改修を促進する事業です。

● 近江八幡市既存民間建築物耐震診断費補助事業

市は県と協力して、昭和56年5月以前に着工された建築物および住宅に対し、耐震診断費補助を実施しています（対象となる建築物には一定の要件があります）。

6. 非常持出品の準備

地震時には、電気、ガス、上下水道、通信設備が被害を受ける可能性があります。また、緊急時にはすぐに避難できるよう、日頃から災害に備えて準備しておくことが大切です。

非常持出品　すぐに避難できるよう準備しておきましょう。

□飲料水（一人最低1.5ℓ）□非常食　□簡易食器　□ラジオ　□懐中電灯　□救急箱、常備薬
□生理用品　□トイレットペーパー　□軍手、マスク、防寒具　□ヘルメット、防災ずきん
□着替え　□通帳、保険証など貴重品　□携帯電話、各充電器

非常備蓄品　ライフラインが復旧するまでの間、生活できるよう備えましょう。

□最低3日分の食料（缶詰、チョコレートなど）□飲料水（一人1日約３ℓ）□簡易食器　□洗面用具
□カセットコンロ、ボンベ　□ビニールシート、毛布　□ライター、ロウソク　□簡易トイレ

7. 地震時の心得

◆避難時の心得

出火防止の確認

避難する前にもう一度、火の元やブレーカーを落としたか確認しましょう。

階段から避難

避難時は、エレベーターを利用せず階段から避難しましょう。

足もとに注意

電柱、ブロック塀、ガラス、切れた電線などに注意しましょう。

安全な服装

長袖、長ズボンなどの安全な服を着用し、建物のそばを避けましょう。

安否情報を知らせる

玄関などに、避難先や安否情報を記したメモを張っておきましょう。

◆地域で協力して避難

避難をするときは、一人ではなく家族や地域の方々と一緒に避難するようにしましょう。

また、地域の方々と助け合って行動できるように、普段から近所のお年寄りや障がいのある方などと交流を持ったり、災害時の行動について話し合う等、地域の防災力を高めましょう。

8. 地震時の行動

大地震が発生したときは、慌てて行動すると命取りになります。落ち着いて行動するために、行動フローを参考にして、地震後の行動をイメージしておきましょう。

地震時の行動フロー

時期	行動
地震発生	**大きな揺れは最初の1分間** ◆まずは身を守る　◆素早く火の始末　◆脱出口を確保する
発生後1～2分	**揺れが収まったらまず火の始末** ◆火が出たら初期消火　◆家族の安全を確保　◆靴をはき足を守る ◆がけ崩れの恐れがある地域はすぐ避難
発生後3分	**隣近所の安全確認、火災の発生を防ぐ** ◆近所で出火していたら初期消火　◆隣近所に声をかけ救出、救護 ◆余震に注意
発生後5分	**ラジオなどで正しい情報を入手** ◆正しい情報をつかむ　◆電話は使わない　◆家屋倒壊などの危険があれば避難
発生後10分	**協力して消火、救出・救護活動**
発生後～3日位	◆協力して消火活動、救出・救護活動　◆3日分の飲料水、食料が必要 ◆災害情報、被害情報の収集　◆壊れた家には入らない

9. 安否情報の確認先

災害時は通信手段の輻輳によって、電話や携帯電話がつながりにくくなることが想定されます。災害用伝言ダイヤルや、携帯電話やスマートフォン会社が提供する災害用伝言板を利用しましょう。

◆災害用伝言ダイヤル

大災害発生時は、「災害用伝言ダイヤル」が開設されます。音声ガイドに従い、伝言の録音・再生をすることができます。

「災害用伝言ダイヤル」の使い方

録音	「171 」をダイヤル →音声ガイドに従い「1」を押す →被災者の電話番号（市外局番から）	再生	「171 」をダイヤル →音声ガイドに従い「2」を押す →被災者の電話番号（市外局番から）

詳しくは→https://www.ntt-west.co.jp/dengon/

◆携帯電話・スマートフォンによる安否確認

各携帯会社が提供している「災害用伝言板」を利用して、被災者の安否情報を登録・確認することができます。詳しくは、各携帯会社のサイトを確認してください。

10. 我が家の耐震診断

大きな地震が来ても我が家は安全なのか、耐震診断表を使ってチェックしておきましょう。

※ 同じ項目内に該当するものが２つ以上ある場合は、小さいほうの値を選んで下さい。
※ ２階建ての場合は、１階部分だけで診断します。

a 壁の割合（診断項目）　次のうちどのタイプにあたりますか。あてはまったものを評点して下さい。　評点 A

平面					
評点	2階建：1.2 平 屋：1.5	2階建：1.0 平 屋：1.5	2階建：0.7 平 屋：1.2	2階建：0.5 平 屋：1.0	2階建：0.3 平 屋：0.7

b 地盤と基礎　評点 B

基礎＼地盤	良い	普通	悪い
鉄筋コンクリート造の連続した基礎	1.0	0.8	0.7
鉄筋がないコンクリート造の連続した基礎	1.0	0.7	0.5
ひび割れのあるコンクリート造の連続した基礎	0.7	0.5	0.4
その他の基礎（玉石、ブロックなど）	0.6	0.4	0.3

※地盤の状況と基礎の形状により、該当する評点として下さい。地盤の状況が判らないときは次より判断して下さい。
●良い・・岩盤、丘陵、台地など　●普通・・左記、右記以外の地盤　●悪い・・トラックが通ると家が揺れるような地盤

	診断項目		評点	評点
c	建物の形	上から見ても横から見ても整っている（下の2つに該当しない）	1.0	C
		上から見て凹凸している	0.9	
		1階に壁のない空間がある（駐車場など）	0.8	
d	壁の配置	外壁の隅のすべてに壁がある（下の2つに該当しない）	1.0	D
		外壁に1つの隅に壁がない（ガラス張りになっているなど）	0.9	
		外壁の一面に壁がない、外壁の2つの隅に壁がない	0.7	
e	すじかい	壁にすじかいが入っている	1.5	E
		壁にすじかいが入っていない	1.0	
f	老朽度	健全（新築時の良い状態が続いている）	1.0	F
		柱が傾いたり、戸やふすまのたてつけが悪い	0.9	
		腐ったりシロアリに食われている	0.8	

A～Fの評価をすべて求め、かけ算をして総合評価をしましょう。
A×B×C×D×E×F＝総合評価
計算の結果が0.04より小さいか2.3より大きい時は、計算が間違っています。計算をやり直して下さい。

耐震判定表

総合評価	1.5以上	1.0位以上1.5未満	0.7位以上1.0未満	0.7未満
判定	安全	一応安全	やや危険	倒壊等の危険
今後の対応	維持	専門家の診断検討	専門家の要診断	専門家と補強相談

11. 我が家の防災メモ

我が家の避難場所	災害時の緊急避難先
	※確実に連絡の取れる親類・知人など

家族の名前	生年月日	血液型	会社・学校
			名称　　TEL
			名称　　TEL
			名称　　TEL
			名称　　TEL
			名称　　TEL

◆問い合わせ

近 江 八 幡 市

《揺れやすさマップ、倒壊危険度マップに関すること及び助成制度について》
都市整備部 建築課　TEL: 36－5544
《避難施設・避難所一覧及び地震に対する備えについて》
市民部 危機管理課　TEL：33－4192